

映画美学校 言語表現コース

ことばの学校 第4期演習科
募集要綱

講師

佐々木敦

大崎清夏、瀬尾夏美、滝口悠生、伏見瞬

<特別講師>

浅井茉莉子、桐野夏生、杉山達哉、保坂和志

2025

映画美学校言語表現コース「ことばの学校」第4期演習科の募集を行います。

今期から基礎科の開講時期が変わって、2025年4月のスタートになります。

また、第3期演習科では試みに「創作」と「批評」の2コースに分けてみましたが、4期はそれ以前に戻ってひとつになります。

これに伴って専任講師も半分が入れ替わりました。3期から着任していただいた大崎清夏さん、滝口悠生さんのお二方は留任、新たに瀬尾夏美さん、伏見瞬さんをお迎えします。講義内容や課題は基本的に各講師にお任せしているのですが、いったいどのような授業を行ってくださるか、今からとても楽しみです。

ことばの学校は「基礎科」と「演習科」の二段階になっているわけですが、続けての受講を必須としているわけではなく、募集も別々です（正確に言うと基礎科の受講生に優先的に演習科の受講資格があり、先行応募期間中に定員に達しなかった場合のみ一般公募を行うことにしています）。実際、3期には基礎科を受講していなかった方もいましたし、以前の期の基礎科を受講していた人や、2期から連続して受講された方もいました。そもそも基礎科は完全オンラインなので受講生同士が直接会う機会はないのですが、演習科は渋谷の映画美学校とオンラインのハイブリッドなので、来校してはじめて顔を合わせることになるわけです。毎回、初日の雰囲気は不思議な新鮮さに包まれています（もちろんオンラインでの受講も基礎科とは一味違います）。ことばの学校は、こんな機会がなかったらけっして出会うことがなかっただろう人同士が知り合い、互いのことばを読み合って、そこから何かが始まっていくこともある場所です。

基礎科では、毎回ごとにことばの使い手たちのさまざまな話（それらは繋がっているところもあれば相互に矛盾していることもある）を次々と聞きながら、言語表現の多様なありようをインストールしていったわけですが、演習科では実際に「書くこと」をしていただきます。しかしそれはごく普通の「課題テーマに応じて書く」だけではありません。5人の専任講師がそれぞれに知恵を絞って、ことばの学校ならではのユニークな演習を行っていきます。

通り一遍のカリキュラムとはまったく異なるレッスンによって、あなたのことばは受講以前とは間違いなく変わります。何らかの目標を持っている人なら望ましい結果により近づくことが出来たり、そうでない人は自分がことばによってやってみたいことが見つかるかもしれません。

他の何にも似ていない、日本でただ一つのことばの訓練校に、ようこそ！

【カリキュラム】

| 言語表現のさまざまなジャンルに触れ、「自分が自分だからこそ書ける言葉」を発見し、獲得することを目指します。

| 基礎科でさまざまな言葉のプロフェッショナルから得たことを、演習科では課題提出を通して、自身の言葉と表現を模索していきます。

| 演習科では、主任講師と大崎清夏（詩人）、瀬尾夏美（アーティスト）、滝口悠生（小説家）、伏見瞬（批評家／ライター）4名の専任講師による連続講義のほか、スペシャルゲストによる特別講義を実施。ゲストは浅井茉莉子（「文學界」編集長）、桐野夏生（小説家）、杉山達哉（「新潮」編集長）保坂和志（小説家）を予定。

| 演習科では、対面とオンライン併用のハイブリット型講義となり、受講生の都合に合わせてお選びいただくことが可能です。

【講義日程】

毎週木曜 19:00～

1	4月10日	木	19:00～	佐々木敦・1
2	4月17日	木	19:00～	佐々木敦・2
3	4月24日	木	19:00～	佐々木敦・3
4	5月8日	木	19:00～	大崎清夏・1
5	5月15日	木	19:00～	大崎清夏・2
6	5月22日	木	19:00～	ゲストによる特別講義（桐野夏生）
7	5月29日	木	19:00～	大崎清夏・3
8	6月5日	木	19:00～	伏見瞬・1
9	6月12日	木	19:00～	伏見瞬・2
10	6月19日	木	19:00～	ゲストによる特別講義（保坂和志）
11	6月26日	木	19:00～	伏見瞬・3
12	7月3日	木	19:00～	瀬尾夏美・1
13	7月10日	木	19:00～	瀬尾夏美・2
14	7月17日	木	19:00～	ゲストによる特別講義（浅井茉莉子）
15	7月24日	木	19:00～	瀬尾夏美・3
16	7月31日	木	19:00～	滝口悠生・1
17	8月7日	木	19:00～	滝口悠生・2
18	8月14日	木	19:00～	ゲストによる特別講義（杉山達哉）
19	8月21日	木	19:00～	滝口悠生・3
20	8月28日	木	19:00～	佐々木敦・大崎清夏・伏見瞬・瀬尾夏美・滝口悠生

*講師の都合により講義内容・日程が変更する場合がございます。

主任講師、専任講師プロフィール

佐々木敦（思想家・批評家・文筆家／主任講師）

音楽レーベルHEADZ主宰。芸術文化の様々な分野で執筆などを行っている。著書多数。近刊として『「教授」と呼ばれた男 坂本龍一とその時代』（筑摩書房）、『成熟の喪失 庵野秀明と「父」の崩壊』（朝日新書）。

【専任講師】

大崎清夏（詩人）

神奈川県出身。2011年ユリイカの新人。詩集『指差すことができない』で中原中也賞受賞、『踊る自由』で萩原朔太郎賞最終候補。ほか著作に散文集『目をあけてごらん、離陸するから』（リトルモア）、詩集『大崎清夏詩集』（青土社）など。絵本、海外詩の翻訳、他ジャンルとの共同制作や、朗読劇の執筆も手がける。2019年ロッテルダム国際詩祭招聘。

瀬尾夏美（アーティスト）

土地の人びとのことばと風景の記録を考えながら、絵や文章をつくっている。2012年より3年間、岩手県陸前高田市を拠点とした制作を経て、土地との協働を通じた記録活動を行うコレクティブNOOKを立ち上げる。現在は江東区でstudio04を運営しながら、各地を旅し、物語を書いている。単著に「あわいゆくころ 陸前高田、震災後を生きる」（晶文社）、「二重のまち／交代地のうた」（書肆侃侃房）、「声の地層」（生きのびるボックス）。

滝口悠生（小説家）

1982年東京都生まれ。2011年「楽器」で新潮新人賞を受けデビュー。2015年『愛と人生』で野間文芸新人賞、2016年『死んでいない者』で芥川賞。2022年『水平線』で織田作之助賞、2023年同作で芸術選奨、「反対方向行き」で川端賞。他の著書に『寝相』『ジミ・ヘンドリクス・エクスペリエンス』『茄子の輝き』『高架線』『やがて忘れる過程の途中（アイオワ日記）』『長い一日』『ラーメンカレー』『さびしさについて』（植本一子との共著）など。

伏見瞬（批評家／ライター）

東京生まれ。音楽をはじめとする、表現文化とポップカルチャーに関する執筆を行いながら、YouTube「てけしゅん音楽情報」で活躍。著書に「スピッツ論 「分裂」するポップ・ミュージック」。

【特別講義】

浅井茉莉子（「文學界」編集長）

文藝春秋入社後、「週刊文春」「別冊文藝春秋」「第二文藝部」などを経て、2024年7月より「文學界」編集長。

桐野夏生（小説家）

1998年『O.U.T』日本推理作家協会賞、99年『柔らかな頬』直木賞、2003年『グロテスク』泉鏡花文学賞、04年『残虐記』柴田錬三郎賞、08年『東京島』谷崎潤一郎賞、11年『ナニカアル』読売文学賞、23年『燕は戻ってこない』で毎日芸術賞と吉川英治文学賞、24年には日本芸術院賞を受賞。21年から日本ペンクラブ会長を務める。

杉山達哉（「新潮」編集長）

1987年生まれ。2011年、新潮社に入社。「週刊新潮」編集部、出版部を経て、2017年より「新潮」編集部に所属。2024年4月より同誌編集長。村田沙耶香「地球星人」、千葉雅也「デッドライン」、高山羽根子「首里の馬」、坂本龍一「ぼくはあと何回、満月を見るだろう」、九段理江「東京都同情塔」などを担当。

保坂和志（小説家）

1956年生まれ、鎌倉で育つ。1990年『プレーンソング』でデビュー。現在、隔月で小説的思考塾をリモート開催している。

ことばの学校 第4期演習科 募集要項

募集人員：40名（最低開講人数：22名）

受講期間：2025年4月10日（木）から8月28日（木） 毎週木曜 19:00～22:00

教室：ハイブリット型講義

対面の場合：映画美学校（渋谷）渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F ほか

受講料：99,000円（税込）

※映画美学校通年講座を初めて受講される方は、上記の受講料以外に入学登録料(10,000円)が必要になります。実習費等の別途徴収はありません。

【分割のお支払いに関して】

半額 50,000円をお支払い、残り 49,000円を分割支払い

支払回数	金利	受講料金額	頭金	残金	分割払利息	分割支払金合計	毎月の引落金額
5	4.20%	99,000	50,000	49,000	2,060	51,060	10,212

（単位：円／税込）

申込方法：オンラインによる申込

申込受付期間：2025年2月13日（木）昼 12:00～2025年3月31日（月）20:00まで。

ただし、定員に達し次第申し込みを締め切ります。

【申込フォーム】



<https://business.form-mailer.jp/lp/484cc4e8277255>

受講手続：申込書を映画美学校で受理後、メールにてご入金手続きの案内をさせていただきます。案内に従って、指定の期日までにお振込下さい。ご入金を確認された時点で申し込み受付完了となります。

※一旦納入された受講料は原則として返金できません。

※講義開始に関わらず、申込者の自己都合での解約による受講料の返金は原則お断りいたします。ただし、疾病等、本校がやむを得ないと認める事由についてはご相談に応じます（詳しくは映画美学校約款をご参照ください）。

お申し込み・お問い合わせ：映画美学校

〒150-0044 東京都渋谷区円山町1-5 KINOHAUS B1F

電話番号：03-5459-1850 受付時間（月～土）12:00-20:00

映画美学校約款

■ 受講上のご注意

- ◎講義の写真撮影、録画、録音はご遠慮ください。
- ◎持病のある方、あるいは体調不良になられた方は事務局にご相談下さい。
- ◎講義の際に使われる各種の機材・備品などの取り扱いは十分に注意して下さい。機材や備品を大切にすることは映画づくりの基本です。
- ◎館内での私物の管理は、各自で責任を持って行って下さい。賠償の責は負いかねます。また、受講生本人の不注意による事故や物的損害に対しても同様です。
- ◎当校は現役の映画人に講師をお願いしておりますので、講師のご都合またはやむを得ぬ事由により、講師やカリキュラムを変更することがあります。また、交通機関の混乱や、天災地変などやむを得ない事情で、カリキュラムを変更する事があります。
- ◎各コースのカリキュラムは、講師陣により日々検討を重ねております。そのため、要項に記載のカリキュラムが若干変更・修正される可能性もございます。変更・修正の際は理由を説明いたします。
- ◎急なカリキュラムの変更等、当校より緊急連絡をさせていただく場合がございます。ご登録の氏名・住所・連絡先等に変更があった場合は、すみやかに事務局にお知らせ下さい。
- ◎受講希望者が一定の人数に達しないクラスは、開講を見合わせる場合もあります。

■ 受講取消の扱い

- ◎いったん納入した受講料は、原則としてご返金できません。各講座の予算は講師陣と事務局が協議して慎重に確定いたしますので、その後のキャンセルはカリキュラムの実現に重大な支障を来します。ただ、病気や転勤など、当校がやむを得ないと認めた場合は、開講日以前であれば下記の計算方法でご返金いたします。その場合、医師による診断書や勤務先の辞令（コピー可）など、受講不可能となった事由を証明する書類をご提出下さい。

■ 受講開始日より起算した返金額

- 30 日前まで：全額の 90%
- 29 日前～14 日前まで：全額の 75%
- 13 日前～7 日前まで：全額の 50%
- 6 日前～1 日前：全額の 25%

なお、講義開始後のお申し出は、お受けできません。

■ 安全面について

- ◎映画の撮影時には、スタッフ、キャストともに目の前のことに集中するので、事故が起こりやすいものです。事務局から配布される注意事項をよく読んで厳守し、撮影にかかわる人たち全員が安全面に配慮することで、絶対に事故を防ぐようにして下さい。将来、講座修了後も、映画を制作し続ける限り、一番大切なことです。なお、注意事項に書かれていないことは、遠慮なく事務局にご相談下さい。
- ◎非常口、避難通路などは事前にご確認下さい。災害が発生した場合は、必ず係員の指示に従って行動して下さい。

■ 著作権について

- ◎本校のカリキュラムの一環として制作された画像、動画、サウンド等の著作権は基本的に映画美学校に帰属します。従って、それらの全部又は一部および、授業風景等を録画・録音したものの全部又は一部を、本校の広報・業績・紹介目的のため、任意かつ無償で利用することがあります。その際、著作者の氏名の表示を省略することもあります。諸般の事情により支障のある方は、開講してなるべく早い時期に事務局にご相談下さい。なお、利用にあたっては、第三者の著作権、商標、名誉、信用、肖像権その他の権利を侵害しないように細心の注意を払います。